

富山県医療計画<糖尿病>への取り組み状況

指標	現 状			課 題	主 な 施 策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み	目 標 2017年
	国策定時	県策定時	県直近					
●年齢調整死亡率	男 6.7 女 3.3 (H22)	男 7.6 女 3.5 (H22)		■保健指導の実施率が低い	●糖尿病予備群に対する保健指導の強化 ●医療保険者や事業者等との協力による治療受診率の向上	○特定健診・保健指導の推進	○保険者による保健指導の取り組みを推進する	●年齢調整死亡率 ⇒全国以下 ●特定健康診査受診率 ⇒70% ●特定保健指導実施率 ⇒45%
●糖尿病患者数	38.3 (人口千対) (H20)	43.7 (人口千対) (H20)						
●特定健診の実施率	42.9% (H22年度)	49.5% (H22年度)	51.7% (H24年度)	■合併症の専門治療体制の充実が必要	●働く世代の患者に対する教育入院等の体制整備の検討 ●糖尿病合併症等の専門治療体制の充実	○糖尿病重症化予防対策マニュアルに基づき連携を推進(H25年度実績) ・医療機関→行政 保健指導依頼 87件 ・行政→医療機関 受診勧奨 220件	○勤労者が治療を継続しやすい環境の整備が必要	●糖尿病受診勧奨者割合 ⇒6.6%
●特定保健指導の実施率	13.3% (H22年度)	13.3% (H22年度)	19.2% (H24年度)					
●特定健診受診者で糖尿病の受診勧奨者割合	7.2% (H22年度)	8.8% (H22年度)		■重症化予防のため関係者の連携強化が必要	●かかりつけ医、専門医、保健担当者等の連携促進	○連携促進のためのツールの改定 ・糖尿病重症化予防対策マニュアル ・別冊 糖尿病診療用指針	○マニュアルを活用した医療間の連携、医療と保健の連携を図り、重症化予防の推進が必要 「糖尿病重症化予防対策マニュアル」「糖尿病診療用指針」のさらなる活用の推進	●糖尿病の認定教育施設数 ⇒現状維持 ●糖尿病腎症による透析患者数 ⇒減少 ●糖尿病治療者でコントロール不良者の割合 ⇒低下
●糖尿病の認定教育施設数		11施設 (H24)	12施設 (H26)					
●糖尿病の足病変の治療を行う医療機関数	1.2施設 (人口10万対) (H24)	1.5施設 (人口10万対) (H24)	2.0施設 (人口10万対) (H27)					
●糖尿病網膜症の治療(硝子体手術)が可能な医療機関数		9施設 (H24)	10施設 (H25)					
●糖尿病腎症による透析患者数	12.7人 (人口10万対) (H22)	11.9人 (人口10万対) (H22)	12.1人 (人口10万対) (H23)					
●糖尿病治療者でコントロール不良者の割合		11.3% (H22)	11.2% (H23)					

